

2024年11月29日

NTT東日本 茨城支店

日立市におけるひたち若者かがやき会議主催  
「若者会議全体会～日立で防災を考える1日 防災体験・見学ツアー～」に参画しました

NTT 東日本茨城支店（支店長：松木 裕人 水戸市北見町 8-8）は、ひたち若者かがやき会議主催の「若者会議全体会～日立で防災を考える1日 防災体験・見学ツアー～」(以下、本イベント)に参画しました。

## 1. 背景・目的

NTT 東日本茨城支店と日立市は、近年の気象災害の激甚化を受け、2024年7月に災害の早期復旧を目的とした「災害時における通信設備復旧の連携等に関する基本協定」を締結し、平時からの相互連携を通じ、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

日立市は、四季を通じて寒暖差の少ない温暖な気候の特徴を有していますが、令和5年台風13号による豪雨災害では、線状降水帯の発生により記録的な大雨となり、市内各所で浸水被害や土砂災害が多数発生しました。

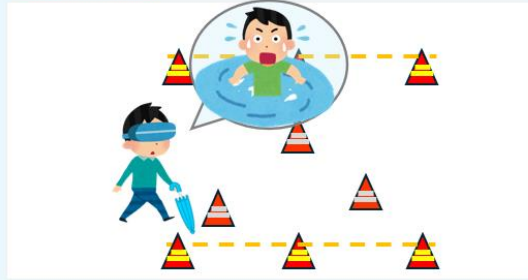
このような背景を踏まえ、日立市が実施する本イベントにおいて、AR技術※1などを用いた仮想映像により、浸水災害を疑似体験することが可能な「AR浸水体験」と災害状況を想定した「ドローン体験」を提供し、地域の皆さまが正しい防災・減災についての知識習得と有事の際の取り組みをご理解いただくことを目指します。

※1：現実世界にCG映像などを合成することで、実存するように見える技術

## 2. 防災体験の実施模様

- 日時 2024年11月24日（日）10時45分～12時30分  
※本イベントの全体スケジュールは10時00分～16時00分
- 場所 日立市立仲町小学校体育館  
〒317-0055 茨城県日立市宮田町5丁目5-1
- 内容 AR浸水体験・ドローン体験  
障害物を設置したコースをARゴーグルを装着した状態で歩行し、浸水環境を体験する「浸水体験」や、見えない場所の災害状況をドローンのカメラを用いて確認する「ドローン体験」を行いました。

### AR浸水体験（イメージ）



- 障害物は浸水していて、確認できない状況。
- 障害物を傘などで探りながら歩行。
- 浸水環境での行動ノウハウを学習

### ドローン体験（イメージ）



- テント内に障害物と地図or実際の災害画像を設置
- ドローン操作者からは、手前の障害物で奥の地図は見えない
- ドローンを操作して地図上にプロットしてある災害状況を読み取る



浸水災害時の AR（拡張現実）体験



AR（拡張現実）体験者に映し出される映像



ドローン操作体験



災害用伝言ダイヤル操作体験

### 3. 今後の展望

NTT 東日本茨城支店は、今後も日立市や他自治体の皆さまと連携しながら、ICT・AI・デジタル技術等を活用することで、地域住民の皆さまの安全・安心な生活・社会環境づくりを推進してまいります。

つぎのミライは、  
あなたの街から  
はじまる。

**NTT東日本グループ**